

平成12年度

年 報



熊本県立図書館・近代文学館

愛称 温知館

目 次

沿革	・ ・ ・	2
組織	・ ・ ・	3
事業報告	・ ・ ・	4
1 概況報告	・ ・ ・	4
2 熊本県立図書館	・ ・ ・	5
3 熊本近代文学館	・ ・ ・	9
平成12年度事業実績	・ ・ ・	10
1 資料	・ ・ ・	10
2 利用状況	・ ・ ・	13
3 10年のあゆみ	・ ・ ・	17
行事・催事	・ ・ ・	19
1 熊本県立図書館	・ ・ ・	19
(1) 読書活動関係	・ ・ ・	19
(2) 研修会事業	・ ・ ・	19
(3) 会議	・ ・ ・	20
(4) 出版	・ ・ ・	20
(5) その他事業	・ ・ ・	20
2 熊本近代文学館	・ ・ ・	23
(1) 常設展示作家	・ ・ ・	23
(2) 特別展	・ ・ ・	23
(3) 特別展関連行事	・ ・ ・	23
(4) 特別講演会	・ ・ ・	23
(5) 詩の朗読会	・ ・ ・	24
(6) 会議関係	・ ・ ・	24
(7) 出版	・ ・ ・	24
その他資料	・ ・ ・	25
1 条例規則等	・ ・ ・	25
(1) 熊本県立図書館設置条例	・ ・ ・	25
(2) 熊本県立図書館協議会設置条例及び 委員名簿	・ ・ ・	26
(3) 熊本県立図書館利用規則	・ ・ ・	27
(4) 熊本県立図書館配本協力車実施要項	・ ・ ・	30
(5) 熊本県立図書館一括貸出実施要項	・ ・ ・	32
(6) 熊本県立図書館子ども文庫実施要項	・ ・ ・	37
2 施設の概要	・ ・ ・	42
3 歴代館長	・ ・ ・	45
4 熊本県内公共図書館一覧	・ ・ ・	46
5 平成12年度の県内公共図書館の概要	・ ・ ・	48

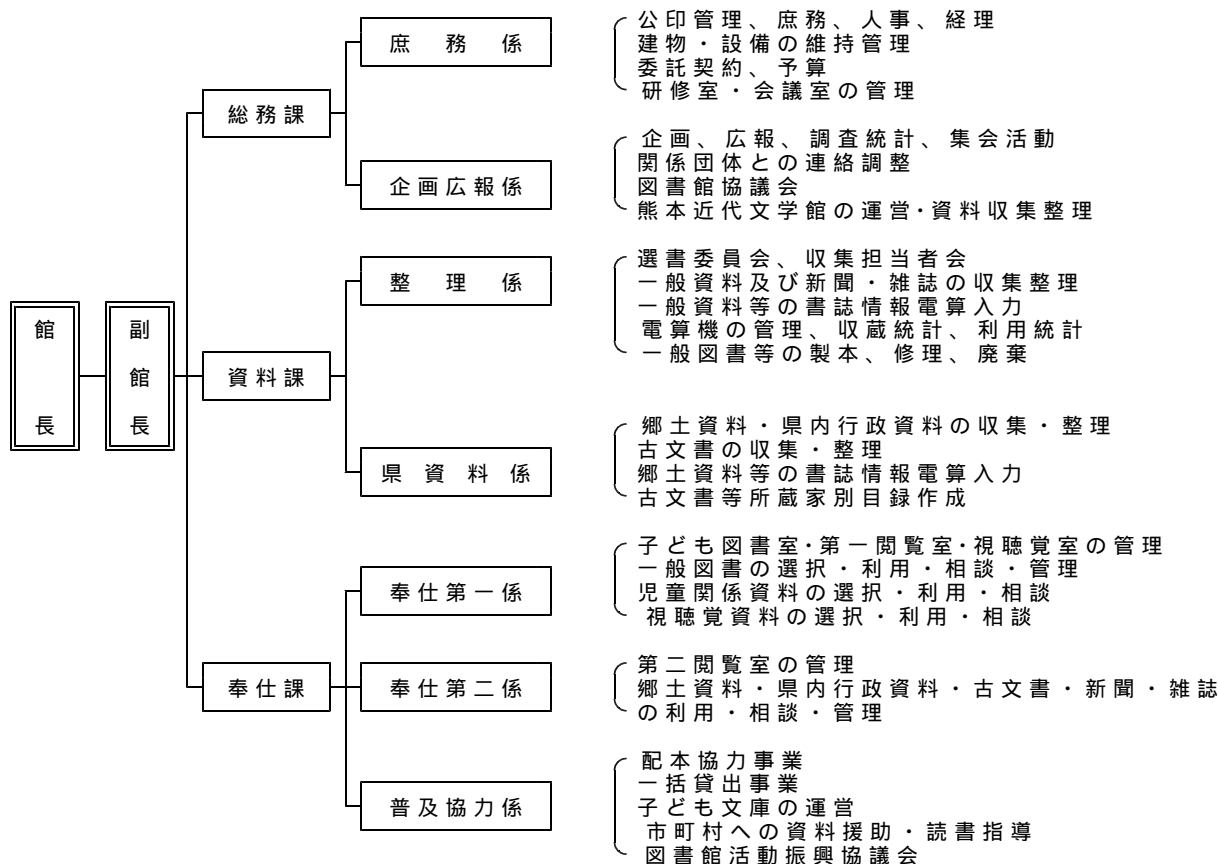
沿革

明治	29年	(1896)	9月	県館聚館(物産館)付属図書館として一般公開始まる。 (熊本市南千反畑町33)
明治	44年	(1911)	5月	観聚館隣接地に独立館舎完成。
明治	45年	(1912)	5月	熊本県立図書館として完全に独立。
大正	2年	(1913)	5月	館外貸出し始まる。
大正	10年	(1921)	7月	団体貸出し始まる。
大正	12年	(1923)	4月	郡制廃止で玉名・下益城・球磨・芦北・天草の郡立図書館が県立移 管となり県立図書館の分館となる。
昭和	3年	(1928)	11月	児童図書館の館外貸出し始まる。
昭和	4年	(1929)	3月	前記6つの分館はそれぞれ郡教育支会の経営となる。
昭和	20年	(1945)	7月	戦災で全蔵書83,000冊と361坪の館舎を焼失。
昭和	21年	(1946)	3月	熊本城内旧第6師団法務部庁舎にて開館(旧陸軍幼年学校所蔵の 蔵書等9,245冊)
昭和	26年	(1951)	10月	熊本県立図書館設置条例施行(昭和26年10月11日)
昭和	33年	(1958)	12月	熊本市千葉城町2番地に館舎落成、開館。総務・整理・奉仕の3課制となる。
昭和	35年	(1960)	8月	移動図書館車による県下全域への奉仕始まる。
昭和	38年	(1963)	4月	3課6係制となる。
昭和	42年	(1967)	2月	別館竣工。
昭和	45年	(1970)	7月	3課7係制となる。
			10月	別館増築工事(2~3階)始まる。
昭和	46年	(1971)	3月	別館増築工事(2~3階)竣工。
昭和	53年	(1978)	11月	県立図書館建設委員会の設置。
昭和	56年	(1981)	10月	県立図書館建設に関する意見書提出される。
昭和	59年	(1984)	3月	県立図書館新館・近代文学館着工(昭和59年4月21日、熊本市出 水2丁目5番1号・江津花壇跡地で起工式。)
昭和	60年	(1985)	7月	県立図書館新館・近代文学館竣工(昭和60年7月25日)
			10月	県立図書館新館・近代文学館落成・開館式(昭和60年10月16日) コンピュータシステムを導入し、情報検索、貸出返却等の業務開始。
昭和	62年	(1987)	1月	県庁1階情報プラザに検索用端末を設置し利用開始。
平成	2年	(1990)	10月	電算機の更新 NEC ACOS410 ACOS3300へ。
平成	3年	(1991)	1月	利用者端末(愛称 アテナ)を2台設置。
平成	5年	(1993)	4月	機構改革により、資料課が整理係・県資料係の2係、奉仕課が奉仕 第一係・奉仕第二係・普及協力係の3係となる。
平成	6年	(1994)	2月	図書館整備推進事業推進委員会から熊本県立図書館整備計画が 提出される。
			3月	図書館づくりマニュアルを作成。
平成	7年	(1995)	10月	電算機の更新 NEC ACOS3300 PX7500へ。 利用者端末(愛称 アテナ)更新。2台から5台へ。 外部から県立図書館の蔵書検索と貸出し申し込みができるパソコン 通信による図書館ネットワークサービスを公共図書館5館、大学図書 館3館、学校図書館1館、その他4施設と試行的に開始。
平成	9年	(1997)	6月	配本協力車(1台)を導入、移動図書館車(1台)の計2台で巡回開始。
			10月	平成12年10月のコンピュータ更新について検討するため、「新コン ピュータ・プロジェクトチーム」設置。
平成	12年	(2000)	3月	熊本県書誌総合目録ネットワーク調査報告書を作成。 移動図書館を廃止。
			4月	配本協力事業に全面切り替え。
平成	13年	(2001)	3月	電算機の更新 NEC PX7500 Express5800へ。 汎用コンピュータ方式 クライアント・サーバ方式へ。
			4月	ホームページによる蔵書検索やレファレンス受付、館内でのインター ネットサービス、CD-ROM閲覧を開始。

組織

1 組織図

(平成13年4月1日現在)



熊本近代文学館長 — 副館長

2 職員の構成

		正職員			嘱託職員			臨時職員			計
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	
図書館	館長	1	1								1
	副館長	1	1								1
	総務課	8 (1)	4	4 (1)	1 (1)		1 (1)				9 (2)
	資料課	10 (4)	6 (2)	4 (2)	2	1	1	1 (1)		1 (1)	13 (5)
	奉仕課	14 (8)	7 (2)	7 (6)	4 (2)	1	3 (2)	6 (2)		6 (2)	24 (12)
熊本近代文学館					1	1					1
合計		34 (13)	19 (4)	15 (9)	8 (3)	3	5 (3)	7 (3)		7 (3)	49 (19)

()内の数は、司書・司書補資格者数です。

事業報告

1 概況報告

熊本県立図書館は、熊本県内の公共図書館の整備計画である熊本県図書館整備計画における拠点図書館として、資料情報センター 調査・研究援助センター 相互協力センターという3つの役割を果たしていくことを目指して、館の運営と資料の充実に取り組んでいる。

熊本県内の市町村における図書館設置状況についてみると、平成13年3月31日現在、94市町村のうち34市町村において図書館が設置されている。設置率は36.2%で、全国的に見ると47都道府県のうち、40番目に当たる。（「日本の図書館2000」より算出）

公共図書館には、人々の生涯学習活動、読書活動、調査研究活動を支援していくことが強く求められているが、一つの図書館が収集できる資料には限りがある。そのため、それぞれの図書館が所蔵する資料情報を公開し、有効に活用していく必要が出てくる。その第一歩として、平成7年10月から県立図書館の書誌情報をパソコン通信により市町村立図書館等へ提供するサービスを開始し、また平成12年度末に行った電算機の更新に伴い、平成13年4月から県立図書館の書誌情報を家庭からでもインターネットにより検索ができるようになった。

なお、市町村立図書館等の書誌情報をコンピュータにデータベース化してインターネットで公開し、資料の有効利用と相互貸借を促進する「熊本県書誌総合目録ネットワーク」の構築に向けて検討を進めている。

平成12年度は、国会で「子ども読書年」が決議され、県立図書館では5月5日子どもの日に臨時開館をし、クイズを取り入れた図書館内の探検や絵本の読みきかせ、折り紙教室など、子どもたちに楽しんでもらう「こどもフェスティバル」を開催した。また、記念行事として、10月1日になんきん玉すだれ実演会など、懐かしい遊びや楽しいお話し会を催した「子ども図書館まつり」を、子どもたちの豊かな心と表現力の源となる絵本などの読みがたりの大切さを伝える「特別おはなし会」を3回にわたり開催した。協賛事業として、1階ギャラリーとおはなしの部屋で「絵本の世界と絵画展」を開催した。

さらに、平成12年度は、図書館法施行50周年記念として、11月19日に基調講演やパネルディスカッション、分科会などを内容とする図書館大会「図書館法施行50周年記念パネルディスカッション」を開催した。

そして、利用者サービスの一層の向上のため、11月3日文化の日に開館をした。

併設の熊本近代文学館においては、熊本ゆかりの文学資料の収集・整理とともに、「熊本の女たち展」、「2000年百人一句展」、「中村汀女展」、「熊本・乱の文学展()」などの特別展や、詩人の尾上文氏による特別講演会などの開催、文学館友の会活動など多岐にわたり、熊本の近代文学の普及・発展に向けた活発な活動を展開した。

2 熊本県立図書館事業報告

(1) 図書館資料の収集及び整理の状況

平成12年度の資料購入予算は57,730千円で、20,242点の図書・資料(視聴覚資料、古文書、雑誌、マイクロフィルム等のほか、配本協力用図書、子ども文庫及び近代文学館の図書・資料を含む。)を購入した。(表1)平成12年度の新刊書籍の出版点数は65,065点(『出版年鑑2001』より)で、その約31.1%(但し、私家本、複本購入も行っているため、実際にはこの数字より、タイトル数は、少なくなる。)に相当する。

購入する図書・資料の選定は、主に出版情報からの選定や、書店からの見計らい等により行っている。市町村立図書館等を資料面でバックアップするという県立図書館に求められている機能を充実させるために、レファレンス用の参考図書・資料の充実に重点を置いた資料の収集に努めている。このほか、多くの寄贈や官公庁からの寄付による図書・資料を含め、合計5,453点の図書・資料(ビデオ等を含む。表1)を取得し受け入れた。

平成12年度末における当館の所蔵資料数は、購入分、寄贈取得分等を合わせて、25,695点の増加となり、合計746,730点となった。(表17)

(2) 奉仕業務の状況

子ども図書室(1階)では、乳幼児から中学生までを対象とした児童図書の貸出のほか、子どもの読書に関する相談等にも応えている。また、毎週水曜日の午後3:30~4:00には、「おはなしの時間」を設けて絵本の読み聞かせや紙芝居などを行っている。

視聴覚室(1階)では、所蔵しているCDやビデオテープなどの館内視聴サービスを提供するほか、3階の大研修室を利用して所蔵資料による映画上映会「ライブラリー名作劇場」を毎月1、2回行っている。平成12年度は21回開催した。(表25)

第1閲覧室(2階)では、図書・資料の館内閲覧や個人館外貸出業務を行うほか、電話などによる問い合わせに対して回答するレファレンス・サービス、館内の図書・資料の複写サービス、市町村立図書館や公民館、学校図書館等との資料の相互貸借業務を行っている。

第2閲覧室(3階)では、熊本県に関する資料(古文書を含む。)や熊本県に関係のある作家の著作などの郷土資料、熊本県及び県内市町村で刊行された行政資料、新聞(マイクロフィルムを含む。)、雑誌等の閲覧業務や館外貸出業務(雑誌の一部のみ)を行うほか、レファレンス・サービス及び所蔵資料の複写サービスを行っている。

平成12年度の開館日数は270日間で、入館者数は284,143人(対前年度1.4%減、1日平均1,052人)であった。入館者数は、過去5年間で平成9年度は減少したが、微増している。

また、熊本県立図書館は、コンピュータ更新のため、平成13年3月26日(月)~4月16日(月)の計22日間休館した。(熊本近代文学館を除く。)

平成12年度の新規館外貸出登録者数は7,307人(対前年度1.2%減)で、男女別では、男性3,174人(対前年度0.4%増)、女性4,133人(対前年度2.3%減)であった。

本館分図書・雑誌の年間の館外貸出冊数は、209,551冊(対前年度7.8%減)であった。

レファレンス(調査相談)の件数は、子ども図書室、第1閲覧室、第2閲覧室を合わせて7,347件で、総数は前年度に比べ4.0%増加した。

(3) 普及協力事業の状況(市町村立図書館・公民館への支援)

ア 相互貸借事業について

相互貸借事業においては、県内外公共図書館、県内市町村教育委員会・公民館、県内小・中学校、高等学校・大学図書館等に対して合計3,950冊(870件)の貸出を行った。一方、相互貸借による借受は、県外の公共図書館等から合計204冊(107件)であった。(表12)

イ 配本協力車による配本の状況について

平成9年度から配本協力車を導入し、市町村への巡回を開始した。平成12年度は、市町村図書館33館及び公民館49館を対象に月1回程度巡回し、500冊の資料を限度に貸出し、巡回時にその一部を入替える方法で実施した。貸出冊数は合計で46,712冊であった。

なお、昭和35年から実施していた移動図書館事業は平成12年3月をもって終了し、全面的に配本協力事業に切替えた。

ウ 一括貸出事業について

この事業は移動図書館等読書活動推進のために、配本協力用図書資料(小説、実用書、児童書(絵本を含む))を公立図書館、市町村教育委員会等に一定の条件の下に一括して貸出すものである。平成12年度には3町村に対して、合計1,600冊を貸出した。(表19)

今後は配本協力と一括貸出によって、市町村への支援を充実したいと考えている。

エ 子ども文庫事業について

この事業は親子読書の推進、地域の子どもの読書環境の整備、充実を図るため、子ども文庫図書資料(絵本を含む)を市町村教育委員会、学校等に貸出すものである。貸出冊数は500冊以内で、貸出期間は1年以内である。平成12年度には52市町村及び学校等に対して、合計12,760冊を貸出した。(表19)

(4) 古文書等保存啓発の状況について

古文書・公文書・写真等歴史資料は私たちの歩みを語り、未来の暮らしを築いていくうえでなくてはならない歴史的財産である。

しかし、災害、家屋の建て替えや、世代交代、市町村合併などによりこれまで大量に失われており、その保存は極めて重要で切実な問題である。

この緊急な課題に対応するため、以下の事業を実施した。

ア 所蔵家別目録作成事業について

平成8～9年度に実施した古文書等所在確認調査を基に、平成10年度から、熊本県古文書等所蔵家別目録作成事業を5ヵ年事業(熊本市は別途に考慮する)として開始した。

平成10年度の宇城・上益城地区(16市町村)、11年度の玉名・鹿本地区(16市町村)に続き、平成12年度は菊池・阿蘇地区(20市町村)を調査した。

この事業を実施するにあたっては、調査指導員とそれぞれの市町村に1名ずつの調査員を委嘱した。

イ 古文書実務講座の開催について

調査員・調査指導員と当該市町村の関係職員及び県内の古文書解読研究会の会員を対象(約100名)に、古文書実務講座を3回開催した。(表25を参照)

ウ 古文書のマイクロ化作成事業について

県内に所在する中・近世文書のうち、阿蘇家文書(一の宮町 平成11年度からの継続分)を、県外に所在する熊本関係の古文書からは石本家文書(福岡県 九州大学所蔵平成8年度からの継続分)をマイクロフィルムに収録した。

エ 古文書等歴史資料の企画展示・記念講演会について

歴史資料を保存し、活用していくことの大切さを、広く理解してもらうため12年度は「文書にみる熊本の災害」展を開催した。

展示内容は熊本における自然災害(地震・風害・潮害・水害等)を古文書・公文書・写真等でたどるとともに、貴重な文書等を伝えてきた人々の営みを併せて紹介した。

なお、展示にあわせて、九州東海大学教授宮崎雅徳氏による記念講演会を開催した。

(5) コンピュータシステムの更新について

平成7年10月から使用していた汎用コンピュータをクライアント・サーバ方式のコンピュータに更新し、高速インターネット回線を整備した。この新システムにより以下のサービスが可能となるとともに、運用経費のコストダウンを図った。

ア ホームページによる蔵書検索について

蔵書検索がホームページにより、いつでも、どこからでもできるようになった。

イ 館内でのインターネット利用について

インターネットに接続できるパソコンを7台設置し、無料で使用できるようになった。

ウ CD-ROMの閲覧について

設置した7台のパソコンのうち、4台のパソコンで事典類や統計類など県立図書館が所蔵しているCD-ROMの閲覧ができるようになった。

エ メールによるレファレンス申込について

調査や学習、身近な問題などへのレファレンスがメールで申込できるようになった。

オ キーボード入力式蔵書検索機の新設について

キーボード入力式を4台新設し、タッチ式と合わせ9台になった。キーボード式は漢字入力ができるので、検索効率がよくなった。

今後の課題として、ホームページに書誌情報を公開している図書館との横断検索システムの構築や、各種の図書館がそれぞれの書誌情報と資料を共有化し、資料の搬送手段が確立した図書館ネットワークとなる「書誌総合目録ネットワーク」の構築に向けて検討を進める。

(6) 広報及び出版事業の状況について

「図書館だより」を年2回発行し、熊本県内の公共図書館、市町村教育委員会、小・中学校等に配布した。また、県発行広報誌「県からのたより」、県教育委員会発行誌「教育くまもと」等へ記事の掲載を行った。

平成10年度から、「熊本県読書感想文コンクール」に替わり「図書推薦メッセージ」を募集している。平成12年度は、小学生を対象に募集し、「あなたへのブックレター わたしのすすめる本(小学生の部)」を発行した。

(7) その他事業の状況

読書活動関係事業として、第29回熊本県童話発表大会、平成12年度図書推薦メッセージを行ったほか、「たのしい絵本展」、「第15回郷土関係出版物展」、生涯学習講座「くまもとのラフカディオ・ハーン(小泉八雲)」を開催した。

また、平成12年度は「子ども読書年」にあたり、記念行事として「子ども図書館まつり」、「子ども読書年記念講演会」、「特別おはなし会」を、協賛事業として「こどもフェスティバル」、「葉祥明パネル展」、「絵本の世界と絵画展」を開催した。

さらに、平成12年度は図書館法施行50周年記念として「図書館法施行50周年記念シンポジウム」を開催した。

研修会事業としては、「図書館業務担当者会」、公共図書館及び県内の学校図書館、大学図書館、教育委員会、専門図書館を対象とした「図書館関係職員研修会(初級・中級)」、「図書館業務研修会(県北・県南)」、「県外読書活動状況視察研修」を開催し、県内の図書館関係職員の知識、技能の向上を図った。(表22)

1階ギャラリーにおいて、小学校、中学校、高等学校、盲学校、養護学校等の作品発表の場として毎年美術等作品展(ギャラリー展)を開催している。(表25)

3 熊本近代文学館事業報告

平成12年度の近代文学館は、特別展の開催や文学館友の会活動、郷土にゆかりの深い文学資料の収集など、熊本の近代文学の普及・発展に向けた活発な活動を展開した。

(1) 特別展について

近代熊本において各分野で活躍した女性と熊本で活躍した外国人女性を紹介した「熊本の女たち展」を前年度から引き続き開催した。また、現代俳句の成果と状況を、一般の人に親しみ易いように「百人一句」の形を借り、20のテーマに沿って百句を紹介した「2000年百人一句展」や、熊本に生まれ、現代女性俳句の先覚者であり、平成12年に生誕100年を迎えた中村汀女について、江津湖や母親を詠んだ句を中心に展示した「中村汀女展」を開催した。さらに、「乱」(戦争・戦乱)については、それに関連する作家や文学を中心に、歴史的資料も交えて紹介した「くまもと・乱の文学展」の第三回として、日清・日露戦争から太平洋戦争についての文学作品などを紹介した展示を次年度にかけて開催した。(表26)

(2) 特別展関連行事について

「2000年百人一句展」記念講演会として、俳人・俳誌「霏霏」主宰の星永文夫氏の、「中村汀女展」記念講演会としては、尚絅大学文学部教授の今村潤子氏の講演を開催した。(表27)

(3) 特別講演会について

また、詩人の尾上文氏を招いて、自作の詩の朗読会を開催した。(表28)

(4) 資料の収集について

特別資料として、夏目漱石の書簡、徳富蘆花の書簡、徳富蘇峰の原稿、耕治人の原稿などを購入した。

(5) 広報について

「文学館報」(第55～58号)を年4回発行し、県内の関係機関はもとより全国の文学館等に配布した。(表31)

(6) その他事業報告

文学館友の会(会員180名)では、「文学講座」を12回開催するとともに、友の会文集「湧水」第8号を発行した。また、文学作品を読み語り合う会を2回開催した。

なお、平成12年度入館者総数は19,132人(1日平均70人)となっている。

平成12年度事業実績

1 資料

(1) H12受入点数

(表 1)

			購 入	寄贈・取得	計
熊本県立図書館資料	図書	一 般 書	7,992	3,630	11,622
		児 童 書	1,112	221	1,333
		洋 書	101	38	139
		電 子 図 書	9	0	9
		計	9,214	3,889	13,103
	新聞・雑誌	官 報	59	1	60
		新 聞	112	3	115
		雑 誌	3,065	1,422	4,487
		計	3,236	1,426	4,662
	AV	レ コ ー ド	0	0	
		C D	80	0	80
		カ セ ッ ト テ ー プ	2	2	4
		ビ デ オ テ ー プ	12	47	59
		ビ デ オ デ ィ ス ク	10	0	10
		D V D	8	0	8
		計	112	49	161
	普及協力用資料	配本協力用図書	6,408	2	6,410
		子ども文庫用図書	1,013	20	1,033
		ビ デ オ テ ー プ	1	0	1
		計	7,422	22	7,444
熊本近代文学館用図書			258	67	325
合 計			20,242	5,453	25,695

A

B

(2) 年間除籍冊数

0 冊

C

(3) 年度末所蔵点数

(表 2)

			計
熊本県立図書館資料	図 書	一 般 書	433,041
		児 童 書	57,293
		洋 書	28,713
		電 子 図 書	9
		計	519,056
	新聞・雑誌	官 報	575
		新 聞	1,254
		雑 誌	123,477
		計	125,306
	A V	レ コ ー ド	1,030
		C D	2,591
		カ セ ッ ト テ ー プ	317
		ビ デ オ テ ー プ	1,227
		ビ デ オ デ ィ ス ク	391
D V D		8	
マ イ ク ロ フ ィ ル ム		28	
計		5,592	
普及協力用資料	配本協力用図書	61,527	
	子ども文庫用図書	16,725	
	雑 誌	5	
	ビ デ オ テ ー プ	1	
	計	78,258	
熊本近代文学館資料	図 書	18,442	
	雑 誌	75	
	マ イ ク ロ フ ィ ル ム	1	
	計	18,518	
合 計			746,730

D

E

F

蔵書更新率(%) $[B / (F - B) \times 100]$ 3.56

熊本県立図書館資料の中には、視聴覚室図書資料等を含む。

(4) 開閉架冊数 (表 3)

	開架 [a]	閉架 [b]	開架率(%) [a/(a+b)]*100	H12受入 [c]	開架に占める 新規図書割合(%)
子ども室	16,626	4,716	77.9	1,756	10.6
第一閲覧室	104,406	252,772	29.2	9,048	8.7
第二閲覧室	32,001	108,365	22.8	7,739	24.2
合計	153,033	365,853	29.5	18,543	12.1

視聴覚室、熊本近代文学館、普及協力用図書は除く [c/a*100]

(5) 資料費 (表 4)

		H12年度予算額 (円) d	購入点数 (点) e	平均単価(円) [d/e]
資料費		57,730	20,233	2,853
内	図書費	39,359	9,218	4,270
	雑誌新聞費	2,821	3,223	875
	視聴覚資料費	1,000	112	8,929
	近代文学館資料費	5,250	258	20,349
	普及協力用図書費	9,300	7,422	1,253
訳	県民1人当たりの資料購入費	31.0	平成12年の人口	
		[資料費/人口] (円)		

参考 新聞・雑誌所蔵タイトル数 (表 5)

	購入	寄贈・取得	合計	うち外国語
新聞	16	39	55	4
雑誌	242	970	1,212	11

参考 文庫数 6
(荒木文庫 内田文庫 耕治人文庫 松本文庫 山崎文庫 野口)

参考 その他の資料点数 (表 6)

新聞マイクロフィルム	1,106
近代文学館特別資料	4,409
古文書複製物	19,899

2 利用状況

(1) 開館日数及び入館者数 (表 7)

	県立図書館			熊本近代文学館		
	H11年度	H12年度	対前年比	H11年度	H12年度	対前年比
開館日数(日)	277	270	0.97	277	274	0.99
入館者数(人)	288,209	284,143	0.99	17,454	19,132	1.10
一日平均入館者数	1,040	1,052		63	70	

- ・平成12年5月5日(金)こどもの日、平成12年11月3日(金)文化の日は臨時開館した。
- ・平成12年11月24日(金)は、文化の日開館の振替として臨時休館した。
- ・平成13年3月26日(月)～3月31日(金)の6日間、図書館についてはコンピュータ更新のため臨時休館し、熊本近代文学館については、通常通り開館した。

(2) 館外利用証登録者数 (表 8)

	合計	男性	女性
新規登録者数	7,307	3,174	4,133
累計登録者数	117,020	52,008	65,012

(3) 貸出 (表 9)

		貸出冊数	蔵書回転率(%) $[G/(D + E) * 100]$	
個人	一般	145,916	32.5	
	児童書	47,912		
	雑誌	15,723		
	合計	209,551		
団体	配本協力	46,712	団体数	82
	一括貸出	1,600	団体数	3
	子ども文庫	12,760	団体数	38
	合計	61,072		

(4) 視聴覚資料利用件数 5,764

(5) レファレンス件数

所管別 (表10)

子ども室	1,005
第一閲覧室	3,217
第二閲覧室	3,125

形態別 (表11)

口頭	4,716
電話	2,502
文書	129

(6) 相互貸借利用件数及び冊数

(表12)

		貸出	構成比(%)	借受	構成比(%)	
県外の公共図書館等	件数	54	6.2	106	99.1	
	冊数	72	1.8	203	99.5	
県内	市町村立図書館	件数	488	56.1	0	0.0
		冊数	1,517	38.4	0	0.0
	市町村教育委員会	件数	122	14.0	0	0.0
		冊数	851	21.5	0	0.0
	学 校	件数	195	22.4	1	0.9
		冊数	1,463	37.0	1	0.5
	その他	件数	11	1.3	0	0.0
		冊数	47	1.2	0	0.0
	計	件数	816		1	
		冊数	3,878		1	
合 計	件数	870	100.0	107	100.0	
	冊数	3,950	100.0	204	100.0	

(7) 文献複写

(表13)

利用件数		11,997
複写枚数		123,352
内訳	白黒・カラー	115,764
	マイクロ	7,588

参考 月別入館者及び館外貸出の状況

(表14)

	熊本県立図書館					熊本近代文学館		
	開館日数	入館者数	一日平均入館者数	貸出冊数	一日平均貸出冊数	開館日数	入館者数	一日平均入館者数
4月	24	21,235	885	16,512	688	24	1,607	67
5月	23	24,243	1,054	17,134	745	23	1,860	81
6月	17	20,121	1,184	15,090	888	17	1,151	68
7月	22	29,294	1,332	19,883	904	22	1,936	88
8月	26	41,782	1,607	25,873	995	26	2,330	90
9月	23	27,853	1,211	18,020	783	23	1,353	59
10月	25	25,026	1,001	17,756	710	25	2,273	91
11月	23	21,065	916	16,851	733	23	1,946	85
12月	22	16,834	765	14,995	682	22	945	43
1月	22	19,701	896	16,579	754	22	941	43
2月	22	19,570	890	15,927	724	22	1,018	46
3月	21	17,419	829	14,931	711	25	1,772	71
合 計	270	284,143	1,052	209,551	776	274	19,132	70

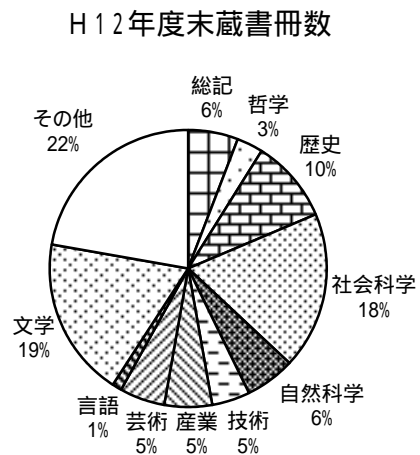
参考 年齢別館外利用証登録者、館外貸出冊数 (表15)

	館外利用証登録者数	館外貸出冊数
0～6歳	1,196	7,935
7～12歳	5,254	20,080
13～15歳	4,830	7,305
16～18歳	6,328	5,635
19～22歳	12,655	16,828
23～29歳	26,849	23,347
30歳以上	23,189	33,846
40歳以上	16,908	32,914
50歳以上	11,110	23,782
60歳以上	8,561	23,804
仮登録	140	14,075
合計	117,020	209,551

参考 本館分図書のNDC分類による、蔵書冊数貸出状況等(電子図書を除く)

	H12年度末蔵書冊数	貸出状況
総記	29,742	5,280
哲学	15,958	7,117
歴史	50,384	19,187
社会科学	95,943	29,740
自然科学	30,004	20,166
技術	23,795	18,658
産業	28,242	8,098
芸術	26,875	17,698
言語	5,845	4,070
文学	96,430	78,636
その他	115,829	901
合計	519,047	209,551

(表16)

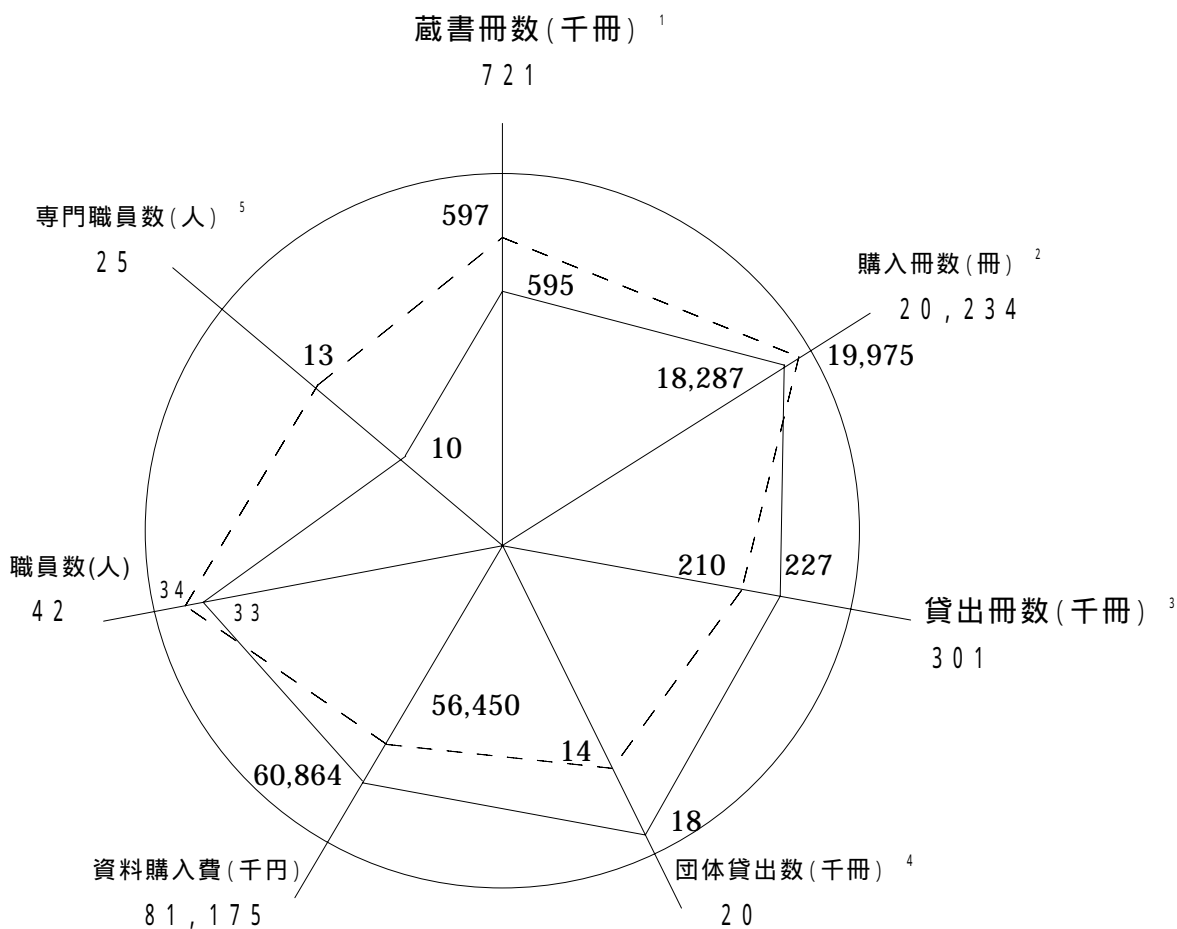
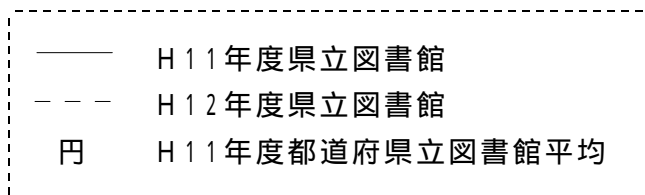


”その他”の内訳について：郷土資料の古文書及び一般図書中の荒木文庫、松本文庫などの大口寄贈図書など

NDC:日本十進分類法

参考 全国から見た県立図書館のすがた

(日本図書館協会「日本の図書館」から)



- 1 蔵書冊数:熊本県立図書館の図書の冊数(熊本近代文学館を除く。11p表2,参照)
- 2 購入冊数:熊本県立図書館の図書の購入冊数(熊本近代文学館を除く。)
- 3 貸出冊数:熊本県立図書館の本館分図書の貸出冊数 13p表9,18p表19参照
- 4 団体貸出数:一括貸出及び、子ども文庫の貸出冊数 13p表9,18p表19参照
- 5 専門職員数:司書及び、司書補の有資格者数

3 10年のあゆみ

(1) 資料受入状況

(表17)

	購入予算 (千円)	購入点数 (点)	平均単価 (円)	寄贈・取得 点数(点)	受入点数 (点)	除籍点数 (点)	その他調 整(点)	所蔵点数 (点)
平成 3年	48,115	21,962	2,191	5,266	27,228	0	0	557,407
平成 4年	48,115	20,167	2,386	35,937	56,104	0	45	613,556
平成 5年	58,115	20,889	2,782	6,326	27,215	22,362	16,882	635,291
平成 6年	58,115	20,558	2,827	7,039	27,597	0	0	662,888
平成 7年	58,115	20,161	2,883	6,165	26,326	0	2,278	691,492
平成 8年	57,940	20,941	2,767	5,336	26,277	39,992	1,442	679,219
平成 9年	57,940	23,177	2,500	6,542	29,719	19,928	-1,951	687,059
平成10年	57,940	23,190	2,498	8,758	31,948	17,416	-1,434	700,157
平成11年	57,940	22,201	2,610	6,062	28,263	9,667	2,460	721,213
平成12年	57,730	20,242	2,852	5,453	25,695	0	-178	746,730

その他調整: 視聴覚資料の取扱の統一及び在庫資料の追加登録等によるもの

(2) 開館日数、入館者数、新規館外登録者数の推移

(表18)

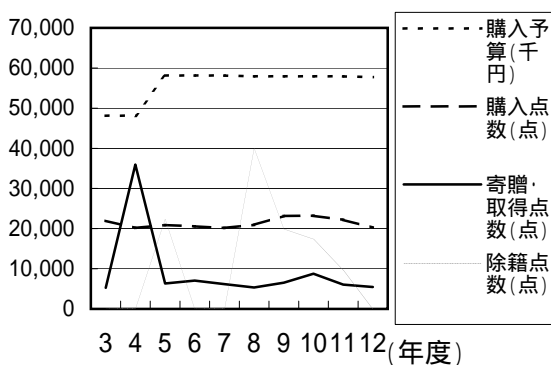
	開館日数	県立図書館		熊本近代文学館		新規館外 利用証登 録者数
		入館者数	一日平均	入館者数	一日平均	
平成 3年	277	251,328	907	20,257	73	5,987
平成 4年	278	271,605	977	20,259	73	6,472
平成 5年	277	272,710	985	21,668	78	6,649
平成 6年	275	289,006	1051	20,577	75	6,870
平成 7年	273	284,891	1044	25,598	94	6,882
平成 8年	273	276,514	1013	26,925	99	6,669
平成 9年	274	264,866	967	21,201	77	6,350
平成10年	276	287,276	1041	22,161	80	7,326
平成11年	277	288,209	1040	17,454	63	7,396
平成12年	270	284,143	1052	19,132	70	7,307
新館累計	4,261	4,281,566	1005	355,089	83	117,020

近代文学館開館日について

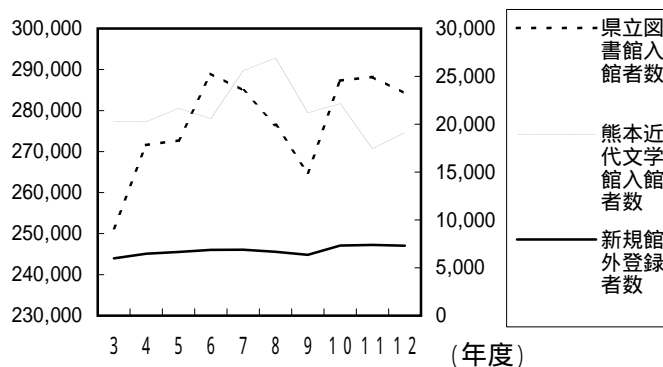
平成 9年度 275日

平成12年度 274日

資料受入状況



入館者数及び、新規館外登録者数の推移



(3) 利用状況の推移

(表19)

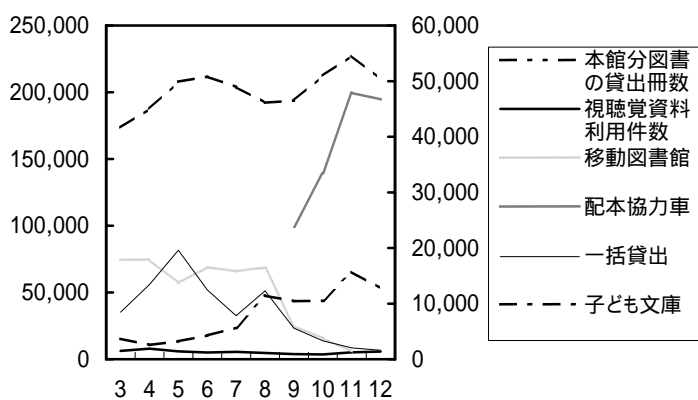
	本館分図書 の貸出 冊数	視聴覚資 料利用件 数	配本協力用図書の貸出冊数				子ども文庫
			移動図書館	配本協力車	一括貸出	計	
平成 3年	173,617	6,182	74,443		8,471	82,914	3,675
平成 4年	187,650	7,863	74,608		13,436	88,044	2,575
平成 5年	207,913	5,829	57,019		19,600	76,619	3,225
平成 6年	211,701	5,083	68,924		12,450	81,374	4,250
平成 7年	203,958	5,524	65,924		7,833	73,757	5,666
平成 8年	192,187	4,624	68,713		12,299	81,012	11,423
平成 9年	193,810	3,847	24,830	23,854	5,578	54,262	10,452
平成10年	212,421	3,543	15,719	33,445	3,300	52,464	10,511
平成11年	227,338	5,173	5,861	47,907	2,040	55,808	15,703
平成12年	209,551	5,764		46,712	1,600	48,312	12,760

(4) レファレンス件数の推移

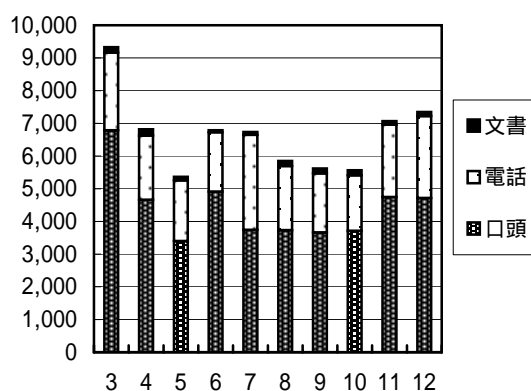
(表20)

	口頭	電話	文書	合計
平成 3年	6,782	2,383	162	9,327
平成 4年	4,662	1,963	195	6,820
平成 5年	3,398	1,856	113	5,367
平成 6年	4,910	1,817	61	6,788
平成 7年	3,739	2,910	87	6,736
平成 8年	3,728	1,967	153	5,848
平成 9年	3,662	1,807	149	5,618
平成10年	3,709	1,698	157	5,564
平成11年	4,742	2,218	108	7,068
平成12年	4,716	2,502	129	7,347

利用状況の推移



レファレンス件数



行事・催事

1 熊本県立図書館

(1) 読書活動関係

(表21)

行事名	開催月日	内容	参加人数
第39回 熊本県童話発表大会	10月29日	県下11地区(23名)による発表 第13回県民文化祭(五和町)主催事業	240
平成12年度 「私の薦める本あなたへの ブクレッター」(図書推 薦メッセージ)	9月30日	募集対象:小学生 心に残った本など、多くの人に読んでほしい本を、小学生が友達や身近な人たちに推薦するメッセージを募集。	15,064

(2) 研修会事業

(表22)

行事名	開催月日	内容	参加人数
平成12年度 図書館地区別研修 (九州・沖縄地区)	10月16日～ 10月20日	公立図書館等の司書でおおむね勤務経験が3年以上のものを対象として、図書館業務の各専門領域における知識・技術の向上を図る。	99
図書館法施行50周年記念シンポジウム	11月19日	基調講演「図書館の歩みとこれから」 講師 栗原 均氏(日本図書館協会理事長) ハネルタイムカッション'図書館の役割' 分科会	189
図書館業務担当者会	6月 9日	市町村立図書館の設置促進について 熊本県書誌総合目録ネットワーク調査報告書の概要について 超かんたんおはなし小道具づくり 他	76
図書館関係職員研修会 (初級)	9月25日～ 9月26日	演題 「レファレンスワークについて」 講師 植村 芳浩 氏 (尚絅大学助教授)	81
図書館関係職員研修会 (中級)	2月20日～ 2月21日	演題 「レファレンスサービスについて」 講師 植村 芳浩 氏 (尚絅大学助教授)	57
県外読書活動状況視察 研修会	9月21日～ 9月22日	宇佐市民図書館、挾間町立図書館(大分県) 16市町村から参加	24
地区別市町村図書館業務担当者研修(県北)	1月25日 (合志町)	九州地区著作権セミナー報告 読書のアニメーションについて	66
地区別市町村図書館業務担当者研修(県南)	2月 1日 (鏡町)	研究協議 他	43

(3) 会議

(表23)

会議名	開催月日	内 容
県内公共図書館長会議	5月30日	県内公共図書館長が、一堂に会し、図書館活動、事業等について協議
熊本県図書館連絡協議会 理事会	6月 8日	役員改選、平成11年度事業報告、決算監査報告、平成12年度事業計画、予算案等について審議
熊本県立図書館協議会	2月23日	平成13年度県立図書館主要事業について説明、質疑応答、提言等協議

(4) 出版

(表24)

出版物	発行月日	内 容	発行部数
図書館だより	10月 1日	「図書館利用の促進」、「県内図書館レポート(鏡町)」他	2,000部
	3月 10日	「図書館大会」、「県内図書館レポート(小川町)」他	2,000部
私の薦める本 あなたへのブックレター (小学生の部)	平成13年 3月	多くの人に読んで欲しい本を紹介する 小学生の図書推薦メッセージ集	1,300部

(5) その他事業

(表25)

行事名	開催月日	内 容	参加人数
子どもの日 とじょかんフェスティバル (「子ども読書年」協賛事業)	5月 5日	子ども映画館 午前:となりのトトロ 午後:次郎物語	午前 75 午後 14
		図書館たんけん隊	午前 30 午後 35
		子どものためのおはなし会 語り手:志岐 有子氏	50
		おり紙作りであそぼう 講師:島田 昇氏	50
		布絵で描くおはなしの世界 講師:相良 京子氏	50
		古文書実務講座	第1回 (7月13日)
	第2回 (8月 3日)	演題:「『町在』を読む 菊池 = 藤田めがね 橋・阿蘇 = 天保の飢饉」 講師:蓑田 勝彦氏 (八代市文化財保護委員) 演題:「古文書の調査と取扱いについて」 講師:飯沼 賢二氏(別府大学教授)	80
	第3回 (9月 7日)	演題:「阿蘇文書を読む」 講師:阿蘇品 保夫氏(八代市立博物館長) 演題:「古文書の保存と修復」 講師:富永 憲太郎氏(表具師)	80

行事名	開催月日	内 容	参加人数
生涯学習講座 「くまとのラフカディオ・ハーン」(小泉八雲)	9月 2日	演題:「ハーン作品における異文化」 講師:西川 盛雄氏(熊本大学教授)	124
	9月16日	演題:「ハーンの生涯」 講師:里見 繁美氏(熊本大学助教授)	113
	10月 1日	演題:「小泉小品鑑賞」 講師:首藤 基澄氏(熊本大学教授)	163
	10月14日 ~10月16日	島根県松江市、玉湯町方面で小泉八雲 ゆかりの地を訪ねての研修 講師:銭本 健二氏(島根大学教授)、白 築和夫氏(八雲会)、国田 忠夫氏(八雲 会)、横山 純子氏(八雲会)	39
「子ども読書年」 記念講演会	10月 8日	講演:「わたしの絵本の世界」 講師:きたやま ようこ氏(絵本作家) 朗読:矢部 絹子氏(熊本朗読研究会) 朗読:飽田地区親子朗読「ハイジの会」	213
楽しい絵本展	1月23日~ 2月10日	むかしばなしの世界 ~ 赤羽末吉の作品を中心に ~	891
特別おはなし会 (「子ども読書年」協賛事業)	第1回 (1月27日)	「すばらしい読みがたり」 語り手:勝 敏彦氏(アナウンサー) 語り手:小出 史氏(アナウンサー)	310
	第2回 (2月24日)	「いつでも気軽にブックトーク」 語り手:種村 エイ子氏 (鹿児島短期大学 助教授)	300
	第3回 (3月10日)	「おはなしを聴くたのしみ」 語り手:富原 美智子氏 (福岡おはなしの会代表)	300
第15回郷土関係出版物展	2月21日~ 3月 4日	平成12年1月から同年12月までに刊行 された熊本にゆかりのある著作物の展示	769
古文書展	3月16日~ 3月25日	「文書にみる熊本の災害」展	700
	3月18日	演題:「九州・熊本の地震活動と明治22年 熊本地震の再評価」 講師:宮崎 雅徳氏(九州東海大学教授)	80
ライブラリー 名作劇場	上映月日	タイトル	参加人数
	4月15日	青い山脈	66
	5月 5日	となりのトトロ	75
		次郎物語	14
	5月 6日	荒野の決闘	83
	5月20日	まあだだよ	86
	6月 3日	ロッキー	45
	7月15日	遙かなる山の呼び声	81
	8月 5日	わんわん物語	97
	8月19日	走れメロス	70
	9月 2日	ローマの休日	73
	9月16日	ビルマの豎琴	94
	10月 7日	トラ・トラ・トラ	93
	10月21日	あやに愛しき	74
11月 4日	市民ケーン	60	
11月18日	樽山節考	118	

	12月 2日	アンタッチャブル	80
	12月16日	宮本武蔵	95
	1月 6日	モダン・タイムス	71
	1月20日	それから	61
	2月 3日	野生のエルザ	61
	2月17日	北の国から'89帰郷	62
	3月 3日	誰がために鐘は鳴る	111
	3月17日	晩春	115
ギャラリー展	展示期間	内 容	展示校名
	5月 2日～ 5月21日	あなたへのブックレター 私のすすめる本	熊本県立 図書館
	5月23日～ 6月20日	草部の植物	高森町立草部 南部小学校
	7月 5日～ 7月23日	鶴城中学校美術作品展	宇土市立 鶴城中学校
	7月25日～ 8月13日	天明中学校ポスター作品展及び美術部作品展	熊本市立 天明中学校
	8月15日～ 9月 3日	萌咲展 楽しいデザインと描画	熊本大学美術部 人吉市立 第一中学校
	9月 5日～ 9月24日	東町中美術部展	熊本市立 東町中学校
	9月26日～ 10月15日	熊本県立松橋東養護学校作品展	熊本県立松橋 東養護学校
	10月17日～ 10月29日	熊本県立南関高等学校 美術工芸部作品展	熊本県立 南関高等学校
	11月 1日～ 11月11日	葉祥明 パネル展	熊本YMCA
	11月14日～ 11月26日	生活画・風景画	熊本市立 城北小学校
	11月28日～ 12月17日	中学部作業製品展示 熊本農業高校 美術部作品展	熊本県立 大津養護学校 熊本県立熊本 農業高等学校
	12月19日～ 1月14日	宮地小学校絵画作品展	一の宮町立 宮地小学校
	1月16日～ 2月 4日	熊本県立熊本養護学校 児童生徒作品 展 熊本聾学校 版画と焼き物展	熊本県立 熊本養護学校 熊本県立 熊本聾学校
	2月 6日～ 2月25日	江南中学校 国語科・美術科合同作品展	熊本市立 江南中学校
	2月27日～ 3月11日	下矢部東部小 児童作品展 「下東っ子 生き生き作品展」	矢部町立下矢 部東部小学校
	4月 3日～ 5月 6日	ルーテル学院高等学校 書道展	ルーテル学院 高等学校
	5月 8日～ 5月27日	大自然の中で育つ子どもたちの作品展	阿蘇町立尾ヶ 石東部小学校

2 熊本近代文学館

(1) 常設展示作家(30氏)

徳富蘇峰、徳富蘆花、小泉八雲、夏目漱石、中村汀女、徳永直、高群逸枝、種田山頭火、宗不旱、松岡荒村、篠原温亭、戸川秋骨、蓮田善明、淵上毛銭、蔵原伸二郎、小山勝清、平川虎臣、荒木精之、小山寛二、耕治人、竹崎有斐、長田秀雄、長田幹彦、井上微笑、渋川玄耳、宮部寸七翁、木下順二、安永落子、石牟礼道子、光岡明。

(2) 特別展

(表26)

特別展名	開催期間	内 容
熊本の女たち展	3月22日 ～ 5月21日	近代熊本においては、竹崎順子、矢島楫子、高群逸枝など各分野で活躍した女性たちを数多く輩出している。また、外国人女性が熊本にきて社会事業などに尽力した。これらの女性たちの足跡を紹介した。
2000年百人一句展	7月11日 ～ 8月20日	現代俳句の成果と状況を、一般の人に親しみ易いように「百人一句」の形を借りて、20のテーマに沿った百句を、作者に揮毫いただき、掲載句集または雑誌などと作者略歴・近影写真とともに紹介した。
中村汀女展	10月11日 ～ 12月10日	熊本に生まれ、現代女性俳句の先覚者であり、平成12年に生誕100年を迎えた中村汀女について、江津湖及び熊本の句や母親を詠んだ句を中心に色紙、短冊、書簡等によりその業績を紹介した。
くまもと・乱の文学展()	3月31日 ～ 5月27日	近代日本が経験した対外戦争(日清・日露から太平洋戦争)について、各戦争に関連する作家や文学作品を中心に、熊本ゆかりの人々の戦争体験を基にした作品や歴史的資料も交えて紹介した。

(3) 特別展関連行事

(表27)

行事名	開催月日	内 容
2000年百人一句展 記念講演会	7月30日	演 題：「現代俳句の世界」 講 師：星永 文夫氏(俳誌「霏霏」主宰) 会 場：県立図書館 3階大研修室
中村汀女展記念講演会	11月26日	演 題：「江津湖の化身 中村汀女」 講 師：今村 潤子氏(尚絅大学文学部教授) 会 場：県立図書館 3階大研修室

(4) 特別講演会

(表28)

行事名	開催月日	内 容
尾上 文氏 詩の朗読 会(熊本近代文学館友の会と共 催)	5月28日	朗 読：「サイモン・スミスと踊る熊」ほか 朗読者：尾上 文氏(詩を作り、よみ、うたう詩人) 会 場：熊本近代文学館

(5) 詩の朗読会

(表29)

行事名	開催月日	内 容
詩を楽しむ会（朗読会）（熊本朗読研究会と共催）	6月10日	内 容：堀川喜八郎詩集から「モエニューをおぼえていますか」 朗読者：熊本朗読研究会 会 場：熊本近代文学館
詩を楽しむ会（現代詩朗読会）（熊本朗読研究会と共催）	7月30日	内 容：津留清美詩集「業とカノン」から 朗読者：熊本朗読研究会 会 場：熊本近代文学館
詩を楽しむ会（朗読会）（熊本朗読研究会と共催）	1月28日	内 容：坂本タダシ氏「燎原」掲載作から 朗読者：熊本朗読研究会 会 場：熊本県立図書館 2階会議室

(6) 会議関係

(表30)

会 議 名	開催月日	内 容
熊本近代文学館協議会	3月19日	内 容：平成12年度文学館事業報告及び 平成13年度文学館特別展計画 会 場：熊本県立図書館 3階大研修室

(7) 出版

(表31)

出版物名	発行月日	内 容	発行部数
熊本近代文学館報	7月31日	首藤基澄「俳句深耕」 シリーズ「私と文学」 松永茂生「夫婦でよく散歩されていた・・・」 伊香保温泉旅館主が語る蘆花の思い出	1,500部
	12月 1日	由宇とし子「曼珠沙華」 シリーズ「私と文学」 「2000年百人一句展」記念講演会抄録	1,500部
	2月20日	山崎貞士「上林町の思い出」 シリーズ「私と文学」 「中村汀女展」記念講演会抄録	1,500部
	3月30日	中山智香子「『語り』の可能性」 河上良輝 「掃苔漫步」 シリーズ「私と文学」 文学館この一年	1,500部

その他資料

1 条例規則等

(1) 熊本県立図書館設置条例

(昭和26年10月11日 条例第60号)

最終改正 昭和60年9月30日条例第50号

(設置の目的)

第1条 教育と文化の発展に寄与するため、図書館法(昭和25年法律第118号)第10条の規定に基づき、熊本県立図書館(以下「図書館」という。)を熊本市に置く。

(組織)

第2条 図書館に館長のほか、司書、司書補、事務職員、技術職員及びその他の職員を置く。

(熊本近代文学館)

第3条 熊本ゆかりの近代文学に関する資料の展示等を行い、もって熊本の文学の振興に寄与するため、図書館に熊本近代文学館を置く。

2 熊本近代文学館に文学館長を置く。

(雑則)

第4条 この条例に定のあるものを除く外、必要な事項は教育委員会が別に定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行し、昭和25年7月30日から適用する。

附 則

(昭和45年3月31日条例第34号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則

(昭和60年9月30日条例第50号)

この条例は、昭和60年10月1日から施行する。

(2) 熊本県立図書館協議会設置条例

(昭和33年3月29日条例第15号)

(設置)

第1条 図書館法(昭和25年法律第118号)第14条第1項の規定に基づき、熊本県立図書館に熊本県立図書館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(委員の定数)

第2条 協議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、10名とする。

(委員の任期)

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(雑則)

第4条 この条例に定のあるものを除くほか、協議会に関し必要な事項は、熊本県教育委員会規則で定める。

熊本県立図書館協議会委員名簿

(平成12年7月28日現在)

選出区分	氏名	役職
学校代表者	石田 禮介	県高等学校教育研究会図書館部会長(県立松橋高等学校長)
	畠村 卓	県学校図書館協議会長(熊本市立東町小学校)
社会教育団体代表者	陶山えつ子	県PTA連合会副会長
	富永 清次	県図書館活動振興協議会長(菊陽町長)
社会教育委員	村上 彪	県公民館連合会長(甲佐町長)
学識経験者	杉本富士夫	熊本学園大学助教授
	山中真理子	弁護士
	沖津 信子	県文化懇話会会員(詩人)
	江口 隆一	県議会文教治安委員長
	久野 啓介	熊本日日新聞社監査役

(3) 熊本県立図書館利用規則

(昭和60年10月8日教育委員会規則第17号)

最終改正 平成12年5月24日教育委員会規則第13号

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規則は、熊本県立図書館設置条例(昭和26年熊本県条例第60号)第4条の規定に基づき、熊本県立図書館(以下「図書館」という。)及び熊本近代文学館(以下「文学館」という。)の利用に関し、必要な事項を定めるものとする。

(休館日等)

第2条 図書館及び文学館(以下「館」という。)の休館日は、次のとおりとする。

一 月曜日

二 国民の休日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日

三 館内整理日(毎月末日)

四 特別整理期間(年間14日以内)

五 年末年始(12月28日から翌年1月4日まで)

2 館長(図書館長をいう。以下同じ。)は、前項の規定にかかわらず、特に必要があると認めるときは、臨時に休館又は開館することができる。

(開館時間)

第3条 図書館(子ども図書室及び視聴覚室を除く。)の開館時間は、午前9時30分から午後7時(土曜日及び日曜日にあつては、午後5時)までとする。

2 子ども図書室、視聴覚室及び文学館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。

3 館長は、前二項の規定にかかわらず、必要があると認めるときは、開館時間を変更することができる。

(入館制限)

第4条 館長は、次の各号の一に該当する者に対し、入館を禁じ、又は退館させることができる。

一 館の秩序を乱すおそれがあると認められる者

二 この規則及び係員の指示に従わない者

三 その他管理上支障があると認められる者

(損害賠償)

第5条 自己の責めに帰すべき理由により、施設、設備、資料(図書館資料及び文学館資料をいう。以下同じ。)を滅失又は損傷した者は、館長の指示に従い、これを修理し、又は損害を賠償しなければならない。

第2章 館内利用

(館内閲覧等)

第6条 館内において資料の閲覧等をしようとする者(以下「館内利用者」という。)は、係員の指示に従い、利用しなければならない。

(利用の禁止)

第7条 館長は、館内利用者が前条の規定に違反したと認めるときは、資料の利用を禁止することができる。

第3章 館外利用

(利用証の交付)

第8条 図書館資料を館外で利用しようとする者(以下「館外利用者」という。)は、館長が指定する証明書を提示して利用証の交付を受けなければならない。ただし、館長が特に認めたときは、この限りでない。

2 利用証の交付の際届け出た事項は、3年ごとに確認を行うものとする。

(利用の方法)

第9条 館外利用者は、利用証を係員に提示して利用しなければならない。

2 利用することができる図書館資料は、館外利用者1人につき5点以内とする。

3 利用期間は、15日以内とする。

4 次の各号に掲げる図書館資料は、利用することができない。

- 一 辞書、事典、年鑑、郷土資料、視聴覚資料及びこれらに準ずるもの
- 二 新聞、官報、公報及び永久保存の逐次刊行物
- 三 寄託図書
- 四 その他館長が特に必要と認めるもの

5 第一項から前項までの規定にかかわらず、館長が特に認めたときはこの限りでない。

(利用証の亡失)

第10条 館外利用者は、利用証を亡失したときは、直ちに館長に届け出なければならない。

2 館外利用者は、利用証の亡失によって生ずる損害の責めを負わなければならない。

(不正使用の禁止)

第11条 館長は、次の各号の一に該当する場合は、利用証の返還を求め、利用を禁止することができる。

- 一 利用証を他人に譲渡又は貸与するなど不正に使用したとき。
- 二 利用した図書館資料を期限内に返納しないとき。

第4章 調査相談

(調査相談)

第12条 資料の調査依頼又は利用相談(以下「調査相談」という。)をしようとする者は、その事項を明示して口頭又は文書等により行うことができる。

2 館長は、前項の調査相談において適当と認めるものについては、図書館資料を介して行うものとする。

第5章 団体等への貸出し

(配本協力)

第13条 県内市町村に、市町村教育委員会の求めに応じて、配本を行うことができる。

2 配本を利用しようとする市町村教育委員会は、配本所を定め、館長へ申し出なければならない。

3 利用期間は、5月以内とする。

(貸出文庫)

第14条 図書館に貸出文庫を設け、各種の団体又は機関(以下「団体等」という。)に図書の貸出しを行うものとする。

- 2 団体等は、貸出文庫を利用しようとするときは、責任者を定めて館長に申し込まなければならない。
- 3 利用期間は、3月以内とする。
- 4 利用に要する費用は、団体等の負担とする。

(図書館資料の相互貸借)

第15条 他の図書館等との図書館資料の相互貸借については、館長が別に定める。

第6章 資料の寄贈及び寄託

(寄贈及び寄託)

第16条 館は、資料の寄贈及び寄託を受けることができる。

- 2 館は、寄託を受けた資料が天災その他の不可抗力により滅失又は損傷したときは、損害賠償の責めを負わない。
- 3 寄託に要する費用は、寄託者の負担とする。ただし、館長が必要と認めるときは、この限りでない。

第7章 雑則

(館長への委任)

第17条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、館長が別に定める。

附 則

この規則は、昭和60年10月19日から施行する。

附 則

(平成5年3月17日教育委員会規則第3号)

- 1 この規則は、平成5年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行前にこの規則による改正前の熊本県立図書館利用規則の規定により交付を受けた利用証は、この規則による改正後の熊本県立図書館利用規則の規定により交付を受けた利用証とみなす。

附 則

(平成11年8月18日教育委員会規則第6号)

この規則は、平成11年9月1日から施行する。

附 則

(平成12年5月24日教育委員会規則第13号)

この規則は、交付の日から施行する。

(4) 熊本県立図書館配本協力車実施要項

1 目的

熊本県立図書館(以下「県立図書館」という。)は、県内の各市町村立図書館及び公民館図書室等(以下「市町村立図書館等」という。)に対し、定期的に配本協力車で巡回し、図書資料(紙芝居を含む。)を貸出し、その他市町村の図書館活動への協力及び助言を行うこととする。

これにより、市町村の積極的な図書館活動の促進に資するとともに、図書館未設置市町村について、図書館設置の機運の醸成が図られるよう協力する。

2 業務内容

(1)市町村立図書館等からの申込により、次のとおり配本図書の貸出を行なう。

ア 配本図書について、常時500冊を限度として貸出を行なう。

イ 貸出期間は5ヶ月とし、毎月100冊まで入替えを行なうことができる。

(2)相互貸借資料の搬送

(3)市町村立図書館等の管理・運営についての相談

(4)その他市町村の図書館活動への協力及び助言

(5)市町村発行資料の収集及び配布

3 貸出の手続き

資料の貸出を受けようとするときは、配本図書借受申請書(様式1)を提出しなければならない。

4 配本図書の利用と管理

(1)市町村立図書館等は、実務担当者を定め、配本図書の貸出・返却に関する一切の事務処理を行うものとする。

(2)実務担当者は、市町村立図書館等関係職員とする。

(3)利用については、市町村立図書館等の条例・規定に準じて取り扱うものとする。

5 巡回通知

県立図書館長は、配本協力車の巡回日時を市町村立図書館等に通知する。

6 紛失図書資料等の取扱い

市町村立図書館等が借用した図書資料を紛失あるいは著しく汚損・破損したときは、配本図書返却時に県立図書館長に汚損・破損・紛失図書報告書(様式2)を提出する。

県立図書館は、市町村立図書館等と協議し処理する。

7 その他

この要項に定めるもののほか、必要事項については、館長が別に定めることができる。

8 適用

この要項は、平成9年4月1日から適用する。

配本図書借受申請書

熊本県立図書館配本協力車実施要項による貸出を、下記により
利用したいので申請します。

記

借受冊数

冊

設置場所

平成 年 月 日

所 属
所属長

印

担当者
TEL

熊本県立図書館長 様

汚損・破損・紛失図書報告書

借用中の図書資料について、熊本県配本協力車実施要項の規定に基づき下記のとおり報告します。

記

状況	資料名	資料番号	借用年月日	備考

平成 年 月 日

所 属
所属長

印

熊本県立図書館長 様

(5) 熊本県立図書館一括貸出実施要項

1 目的

熊本県立図書館(以下「県立図書館」という。)は、市町村教育委員会・公立図書館(以下「教育委員会等」という。)が自主的に行う読書活動を推進するにあたり、地域住民に提供する資料の補充が必要と認められるとき、図書資料(紙芝居を含む。)の一括貸出を行い読書環境の整備・充実に資することを目的とする。

2 貸出基準

- (1) 図書館未設置市町村教育委員会独自で移動図書館を実施しているか、又は実施しようとするとき
- (2) 図書館活動推進モデル地域の指定を受けたとき
- (3) 新築開館後5年以内の公共図書館
- (4) 上記以外に県立図書館長が特に認めたととき

3 貸出冊数及び貸出期間

- (1) 「貸出基準」の(1)・(2)・(3)に該当する教育委員会等にあつては1,000冊を上限とし、期間は1年以内とする。
- (2) 「貸出基準」の(4)に該当する教育委員会等にあつては、500冊を上限とし、期間は6か月以内とする。
- (3) 県立図書館長が特に必要と認めたとときは、一度の更新を認める。

4 申請手続

- (1) 貸出を受けようとする教育委員会等は、貸出を希望する日の2週間前までに一括貸出申請書(様式1)を提出しなければならない。
- (2) 県立図書館長が貸出を認めたとときは、当該教育委員会に対し、一括貸出承諾書(様式2)を交付するものとする。
- (3) 貸出を受けた教育委員会等は、1週間以内一括貸出受領書(様式3)を県立図書館長あて提出するものとする。
- (4) 一括貸出図書資料の貸出・返却場所は、県立図書館とする。

5 図書資料の利用と管理

- (1) 教育委員会等は、実務担当者を定め、図書資料の貸出・返却に関する一切の事務処理を行うものとする。
- (2) 実務担当者は、教育委員会等関係職員とする。
- (3) 利用については、教育委員会等の条例・規則に準じて取り扱うものとする。
- (4) 図書資料の利用状況について、一括貸出報告書(様式4)を図書返却時に提出する。

6 損失図書資料などの取扱

市町村立図書館等が借用した図書資料を紛失あるいは著しく汚損・破損したときは、熊本県立図書館配本協力車実施要項の例による。

7 申請書等の様式

この要項に規定する申請書等の様式は別に定める。

8 運用

この要項は、昭和62年9月28日から適用する。
この要項の改正は、平成6年6月14日から適用する。
この要項の改正は、平成9年4月1日から適用する。
この要項の改正は、平成11年6月10日から運用する。

一括貸出申請書

熊本県立図書館一括貸出実施要項による貸出を、下記により利用したいので申請します。

記

借受冊数

冊

借受期間

自 平成 年 月 日

至 平成 年 月 日

利用方法

平成 年 月 日

所 属
所属長
担当者
TEL

印

熊本県立図書館長 様

一括貸出承諾書

平成 年 月 日付けで申請のありました一括貸出については、下記のとおり承諾します。

記

貸出冊数 冊

貸出期間 自 平成 年 月 日

至 平成 年 月 日

利用方法

平成 年 月 日

熊本県立図書館長

様

一括貸出受領書

下記のとおり受領しました。

なお、受領の上は「熊本県立図書館一括貸出実施要項」に基づき運用します。

記

受領冊数

冊

平成 年 月 日

所 属
所属長

印

熊本県立図書館長 様

一括貸出報告書

借受冊数 冊

汚損・破損・紛失冊数 冊

借受期間 自 平成 年 月 日

至 平成 年 月 日

利用状況

返却日 平成 年 月 日

所属
担当者

(6) 熊本県立図書館子ども文庫実施要項

1 目的

熊本県立図書館(以下「県立図書館」という。)は、市町村教育委員会等が行う親子読書の推進、地域の子どもの読書環境の整備・充実を図るため、これらに必要な図書資料(紙芝居を含む。)の貸出を目的とする。

2 貸出対象

市町村教育委員会・公共図書館・学校・幼稚園・保育園・文庫等(以下「団体等」という。)

3 貸出の実施方法

- (1) 当該年度の新規購入図書資料については、団体等あたり100冊を上限とする。
その冊数を超える分については、過年度購入図書資料を充てるものとし、合計冊数の上限を500冊とする。
- (2) 図書資料の貸出期間は、1年以内とする。
- (3) 貸出を受けた団体等は、県立図書館が開催する「子ども文庫利用報告会」に参加するものとする。
- (4) 「子ども文庫」の貸出・返却場所は、県立図書館とする。

4 申請手続

- (1) 貸出を受けようとする団体等は、市町村教育委員会又は公共図書館を通して、貸出を希望する日の2週間前までに子ども文庫申請書(様式1)を提出しなければならない。
- (2) 県立図書館長が貸出を認めたときは、当該団体等に対し、子ども文庫承諾書(様式2)を交付するものとする。
- (3) 貸出を受けた団体等は、1週間以内に子ども文庫受領書(様式3)を県立図書館長あて提出するものとする。

5 図書資料の利用と管理

- (1) 管理にあたっては、実務担当者を定める。
- (2) 図書資料の貸出に際しては、ブックカードを使用するなど、出納を明確にする。
- (3) 図書資料の利用状況について、子ども文庫報告書(様式4)を図書返却時に提出する。

6 紛失図書資料等の取扱

市町村立図書館等が借用した図書資料を紛失あるいは著しく汚損・破損したときは、熊本県立図書館配本協力車実施要項の例による。

7 申請書等の様式

この要項に規定する申請書等の様式は、別に定める。

8 運用

この要項は、昭和55年9月1日から適用する。
この要項の改正は、昭和61年4月1日から適用する。
この要項の改正は、平成元年4月1日から適用する。
この要項の改正は、平成6年6月14日から適用する。
この要項の改正は、平成9年4月1日から適用する。

子ども文庫申請書

熊本県立図書館子ども文庫実施要項による貸出を、下記により
利用したいので申請します。

記

借受冊数

冊

借受期間

自 平成 年 月 日

至 平成 年 月 日

利用方法

平成 年 月 日

住 所
申請団体
代表者
担当者
TEL

印

熊本県立図書館長 様

子ども文庫承諾書

平成 年 月 日付けで申請のありました子ども文庫の貸出については、
下記のとおり承諾します。

記

貸出冊数 冊

貸出期間 自 平成 年 月 日

至 平成 年 月 日

利用方法

平成 年 月 日

熊本県立図書館長

様

子ども文庫受領書

下記のとおり受領しました。

なお、受領の上は「熊本県立図書館子ども文庫実施要項」に基づき運用します。

記

受領冊数

冊

平成 年 月 日

受領団体

代表者

印

熊本県立図書館長 様

子ども文庫報告書

借受冊数 冊

汚損・破損・紛失冊数 冊

借受期間
平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

利用状況

返却日 平成 年 月 日

住 所

借受団体

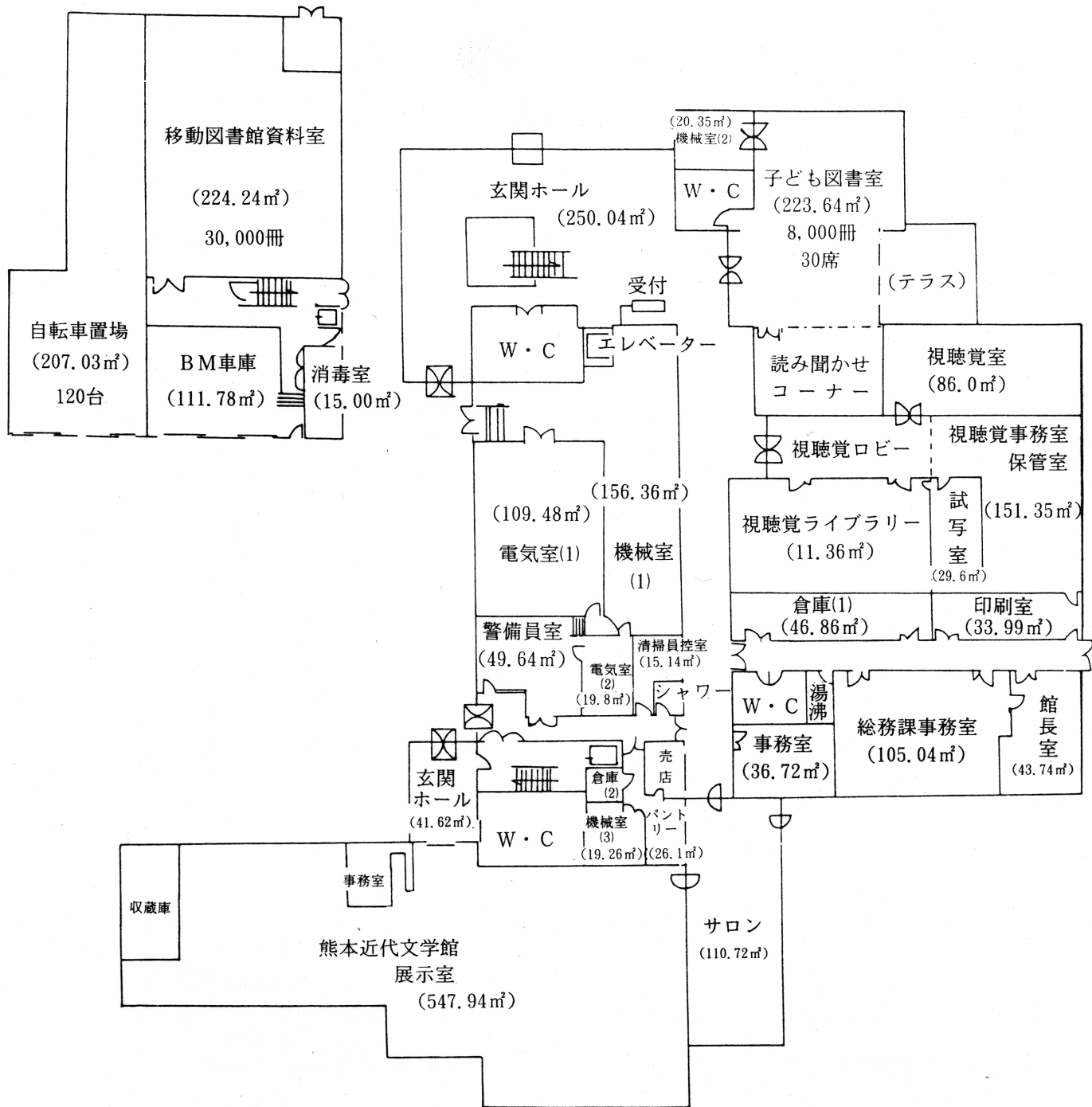
担当者

2 施設の概要

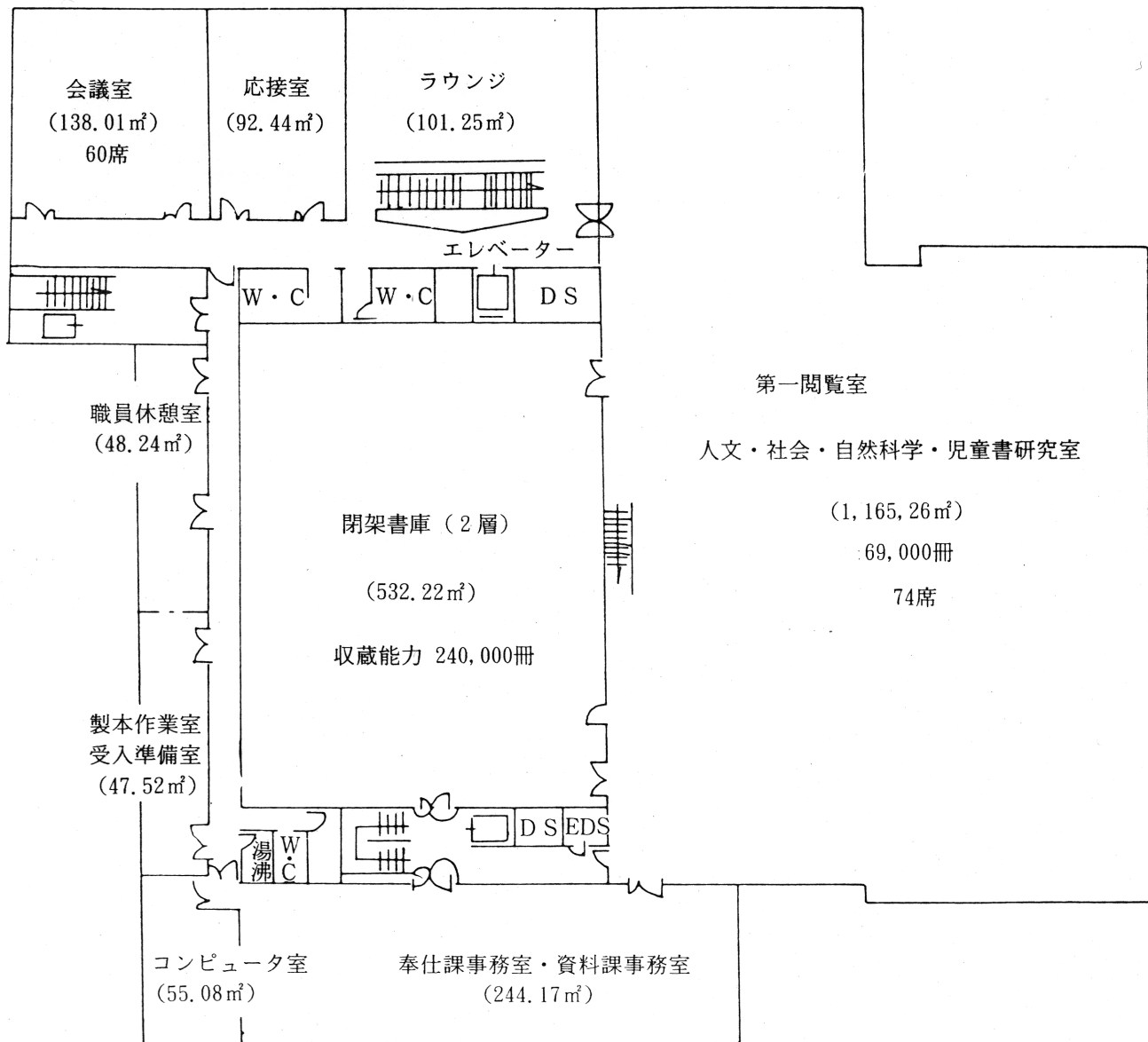
(単位: m²)

階 床面積	閲覧部門	集会部門	視聴覚 ライブラリー	資料保存部門	管理部門	その他	近代文学館
1 階 3,308.79	子ども 図書室 223.64		視聴覚 事務室 151.35 資料室 視聴覚 実習室 143.20 視聴覚室 86.00	移動 図書館 224.24 資料室	館長室 43.74 事務室 105.04 " 36.72 警備員室 49.64 清掃員室 15.14 印刷室 33.99 消毒室 15.00 倉庫 46.86	玄関 250.04 ホール サロン 110.72 売店 ハントリー 26.10 機械室 (1,2,3) 195.97 電気室 (1,2) 129.28 BM書庫 111.78 自転車 置場 207.03 廊下,便所 その他 513.75	展示室 547.94 玄関 ホール 41.62
2 階 2,825.56	第一 閲覧室 1,165.28	会議室 138.01		書庫 (2層) 532.22	応接室 92.44 事務室 244.17 コンピ ュー タ室 55.08 製本 作室 受入 準備 室 47.52 救護 室 職員 休息 室 48.24	ラウンジ 101.25 廊下,便所 その他 401.37	
3 階 2,203.95	第二 閲覧室 717.92	大研修室 230.45 第一 研修室 81.00 第二 研修室 81.96		書庫 (2層) 503.74 貴重書庫 (2層) 114.83		ラウンジ 103.50 廊下,便所 その他 370.55	
4 階 1,048.58				書庫 (集密) 657.72		機械室 (1,2,3) 306.03 廊下 その他 84.83	
屋階 23.76						機械室 23.76	
計 9,410.64	2,106.82	531.42	380.55	2,032.75	833.58	2,935.96	589.56

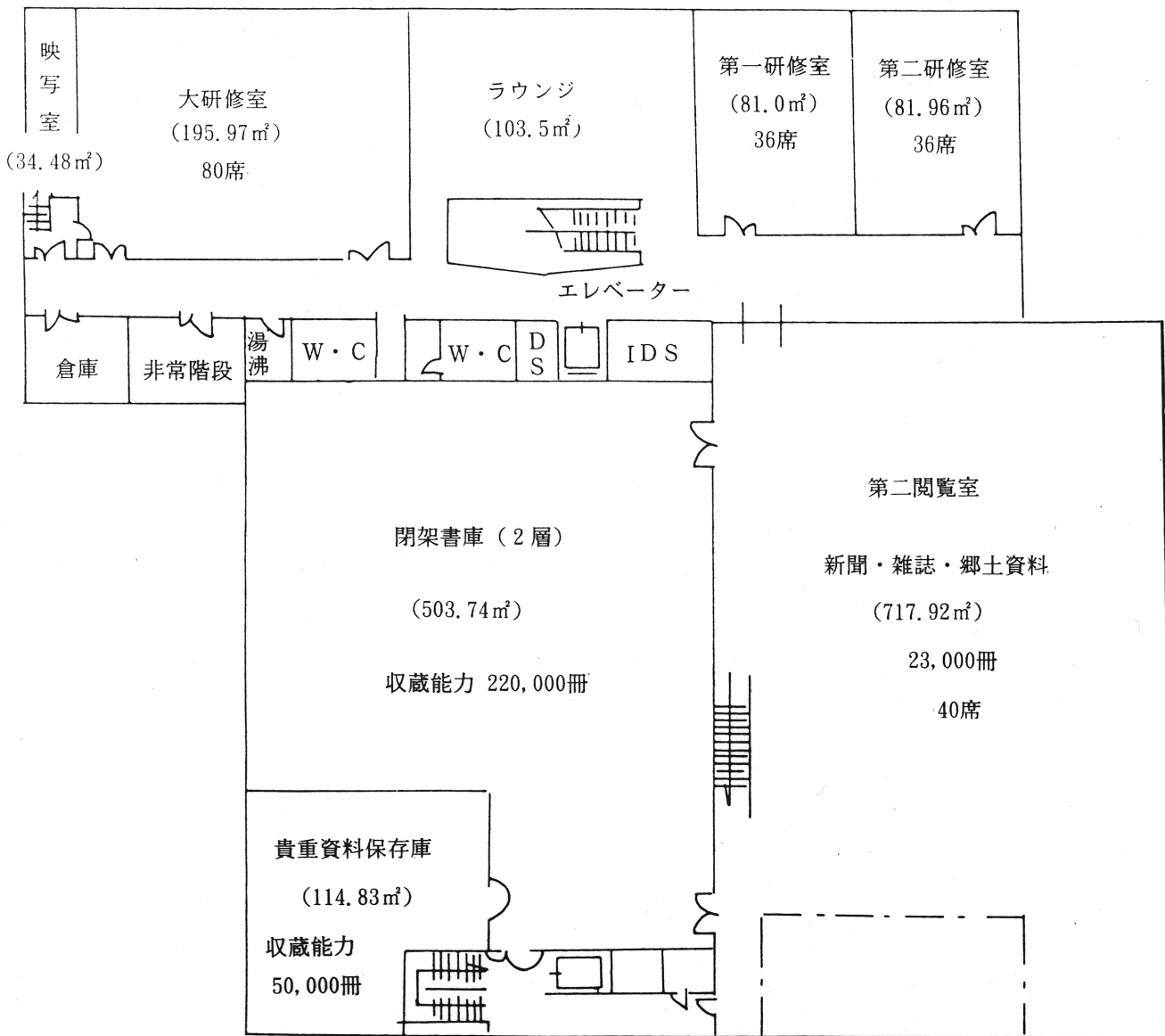
■ 1階 (平面図)



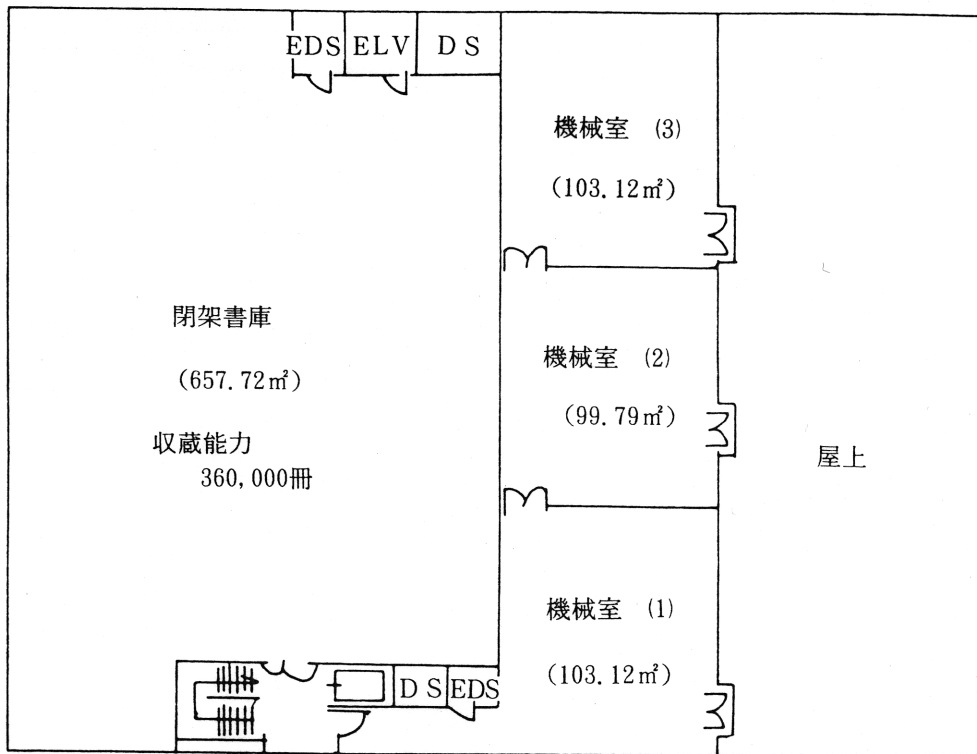
■ 2階 (平面図)



■ 3階 (平面図)



■ 4階及び屋上（一般の人は入れません）



4 階 (1,048.58 m²)

屋 階 (23.76 m²)

3 歴代館長

(氏名)	(在任期間)	(前任)
中津 親義	明治44年 7月 1日 ~ 大正15年 5月 5日	
大島 弘公	大正15年 5月 6日 ~ 昭和 4年 5月 6日	学習院大学教授
甲斐 重五	昭和 4年 7月 31日 ~ 昭和 8年 2月 22日	県立宇土中学校長
武田 雄三	昭和 8年 3月 31日 ~ 昭和13年 4月 21日	県立中学済々黌長
川野辺 薫	昭和13年 4月 21日 ~ 昭和13年 7月 21日	学務課長兼掌
佐々 国雄	昭和13年 7月 21日 ~ 昭和20年 8月 28日	県立鹿本中学校教諭
石塚 菊次郎	昭和20年 8月 29日 ~ 昭和20年 12月 15日	県神祇教学課長兼掌
松本 貞水	昭和20年 12月 16日 ~ 昭和21年 3月 27日	県社会教育課長兼掌
赤星 利雄	昭和21年 3月 28日 ~ 昭和30年 3月 31日	県知事官房文書課長
斉藤 了	昭和30年 4月 1日 ~ 昭和32年 1月 31日	県教育次長
鈴木 知男	昭和32年 1月 31日 ~ 昭和32年 3月 31日	県教育次長兼掌
藤居 信雄	昭和32年 4月 1日 ~ 昭和37年 3月 31日	水俣市立第一中学校長
蒲池 正夫	昭和37年 4月 1日 ~ 昭和42年 3月 31日	徳島県立図書館長
赤池 元則	昭和42年 4月 1日 ~ 昭和45年 3月 31日	県社会教育課長
高野 達雄	昭和45年 4月 1日 ~ 昭和48年 6月 30日	県社会教育課長
小出 庄三郎	昭和48年 7月 1日 ~ 昭和50年 6月 30日	県人事委員会事務局長
椎葉 一郎	昭和50年 7月 1日 ~ 昭和52年 6月 30日	県企画開発部次長
川上 和彦	昭和52年 8月 1日 ~ 昭和53年 6月 30日	県教育次長
深田 干雄	昭和53年 7月 1日 ~ 昭和54年 6月 30日	県統計課長
黒田 節夫	昭和54年 7月 1日 ~ 昭和55年 7月 20日	県立女子大事務局長
原田 十志雄	昭和55年 7月 21日 ~ 昭和59年 6月 30日	県商工観光部次長
木原 章三	昭和59年 7月 1日 ~ 昭和61年 3月 31日	県福祉生活部次長
小澤 豪	昭和61年 4月 1日 ~ 昭和62年 3月 31日	〃
井芹 俊郎	昭和62年 4月 1日 ~ 昭和63年 3月 31日	〃
森 一則	昭和63年 4月 1日 ~ 平成 元年 3月 31日	県教育次長
成松 史朗	平成 元年 4月 1日 ~ 平成 3年 3月 31日	県人事委員会事務局長
富田 三男	平成 3年 4月 1日 ~ 平成 6年 3月 31日	県熊飽事務所長
古家 徹	平成 6年 4月 1日 ~ 平成 7年 3月 31日	県国体推進局長
清水 包	平成 7年 4月 1日 ~ 平成 8年 3月 31日	県教育次長
国友 英信	平成 8年 4月 1日 ~ 平成 9年 3月 31日	県議会事務局長
松尾 隆樹	平成 9年 4月 1日 ~ 平成 9年 7月 1日	県教育長併任
前田 浩文	平成 9年 7月 2日 ~ 平成10年 3月 31日	世界ハンドボール選手権大会推進局長
釜 良之介	平成10年 4月 1日 ~ 平成11年 3月 31日	県監査事務局長
木原 望東男	平成11年 4月 1日 ~ 平成13年 3月 31日	県教育次長
米沢 浩史	平成13年 4月 1日 ~	県地方労働委員会事務局長

4 熊本県内公共図書館一覧

番号	館名	連絡先
1	熊本県立図書館	〒862-8612 熊本市出水2-5-1 電話番号 096-384-5000 FAX番号 096-385-4214
2	熊本市立図書館	〒862-0971 熊本市大江6-1-74 電話番号 096-363-4522 FAX番号 096-372-4252
3	八代市立図書館	〒866-0865 八代市北の丸町2-35 電話番号 0965-32-3385 FAX番号 0965-33-8982
4	人吉市図書館	〒868-0015 人吉市下城本町1578-1 電話番号 0966-24-3518 FAX番号 0966-24-4329
5	荒尾市立図書館	〒864-0032 荒尾市増永633 電話番号 0968-63-2379 FAX番号 0968-63-2379
6	水俣市立図書館	〒867-0065 水俣市浜町2-10-26 電話番号 0966-63-8401 FAX番号 0966-63-8401
7	玉名市民図書館	〒865-0051 玉名市繁根木88-1 電話番号 0968-75-1315 FAX番号 0968-75-1170
8	本渡市立図書館	〒863-0033 本渡市東町13-1 電話番号 0969-23-7001 FAX番号 0969-23-7001
9	牛深市図書館	〒863-1901 牛深市牛深町160 電話番号 09697-3-4191 FAX番号 09697-3-4193
10	宇土市立図書館	〒869-0445 宇土市浦田町131-1 電話番号 0964-22-4512 FAX番号 0964-22-4512
11	三角町立図書館	〒869-3205 宇土郡三角町大字波多219-1 電話番号 0964-53-1849 FAX番号 0964-53-1849
12	不知火町立図書館	〒869-0552 宇土郡不知火町大字高良2352 電話番号 0964-32-6211 FAX番号 0964-32-6213
13	城南町立隈牟田文庫	〒861-4202 下益城郡城南町大字宮地1050 電話番号 0964-28-3111 FAX番号 0964-28-7010
14	松橋町立図書館	〒869-0502 下益城郡松橋町大字松橋564 電話番号 0964-32-0878 FAX番号 0964-32-0878
15	小川町立図書館	〒869-0624 下益城郡小川町大字江頭80 電話番号 0964-43-5111 FAX番号 0964-43-5277
16	岱明町民図書館	〒869-0223 玉名郡岱明町大字中土984 電話番号 0968-57-0045 FAX番号 0968-57-0045
17	南関町立図書館	〒861-0803 玉名郡南関町大字関町1319 電話番号 0968-53-3746 FAX番号 0968-53-2351
18	長洲町図書館	〒861-0123 玉名郡長洲町大字長洲2760 電話番号 0968-69-2060 FAX番号 0968-69-2520

19	植木町立図書館	〒861-0136 鹿本郡植木町岩野238-1	
		電話番号 096-272-6915	FAX番号 096-272-6916
20	合志町図書館	〒861-1116 菊池郡合志町大字福原2922 合志町総合センター内	
		電話番号 096-248-5754	FAX番号 096-248-5450
21	泗水町立図書館	〒861-1205 菊池郡泗水町大字福本305-1	
		電話番号 0968-38-6866	FAX番号 0968-38-7033
22	西合志町民図書館	〒861-1104 菊池郡西合志町御代志1661-265	
		電話番号 096-242-5555	FAX番号 096-242-2817
23	一の宮町立図書館	〒869-2612 阿蘇郡一の宮町宮地2383	
		電話番号 0967-22-2916	FAX番号 0967-22-3819
24	阿蘇町立図書館	〒869-2301 阿蘇郡阿蘇町大字内牧976-2	
		電話番号 0967-32-0067	FAX番号 0967-32-0067
25	御船町立図書館	〒861-3204 上益城郡御船町大字木倉1168	
		電話番号 096-282-0888	FAX番号 096-282-0894
26	矢部町立図書館	〒861-3514 上益城郡矢部町大字城原169-1	
		電話番号 0967-73-1616	FAX番号 0967-73-1888
27	鏡町図書館	〒869-4202 八代郡鏡町大字内田468-1	
		電話番号 0965-52-5567	FAX番号 0965-52-1483
28	宮原町立八火図書館	〒869-4608 八代郡宮原町大字宮原町52	
		電話番号 0965-62-3489	FAX番号 0965-62-3489
29	芦北町立図書館	〒869-5441 芦北郡芦北町大字佐敷204	
		電話番号 0966-82-2213	FAX番号 0966-82-2631
30	錦町図書館	〒868-0302 球磨郡錦町大字一武1587-1	
		電話番号 0966-38-3420	FAX番号 0966-38-4452
31	須恵村立図書館	〒868-0451 球磨郡須恵村1227 須恵村文化ホール内	
		電話番号 0966-45-4399	FAX番号 0966-45-4600
32	大矢野町立森記念図書館	〒869-3602 天草郡大矢野町大字上1539	
		電話番号 0964-56-4393	FAX番号 0964-56-4393
33	松島町図書館	〒861-6102 天草郡松島町合津4276-23	
		電話番号 0969-56-0777	FAX番号 0969-52-8105
34	御所浦町立図書館	〒866-0325 天草郡御所浦町3525-2	
		電話番号 0969-67-3931	FAX番号 0969-67-3977
35	河浦町図書館	〒863-1215 天草郡河浦町白木河内175-13 河浦町文化会館内	
		電話番号 09697-6-0388	FAX番号 09697-6-0388

5 平成12年度の県内公共図書館の概要

蔵書冊数は平成13年3月31日現在

区 分	蔵書冊数	年間受入 図書冊数	図書購入 費(千円)	個人貸出				団体貸出	
				本館分(含分館)		移動図書館		団体数	貸出冊数
				登録者数	貸出冊数	登録者数	貸出冊数		
熊本県立	597,299	25,361	57,730	117,020	209,551	-	-	55	14,360
熊本市立	782,181	56,100	85,000	137,062	1,373,698	7,581	43,441	61	49,346
八代市立	223,391	9,800	17,003	17,561	194,572	2,031	13,975	28	8,847
人吉市	65,236	3,122	3,500	1,247	79,405	4	26,863	7	284
荒尾市立	83,152	2,558	3,980	8,741	115,832	-	10,556	49	1899
水俣市立	94,330	3,190	5,100	3,079	54,735	1,032	35,261	-	-
玉名市立	109,501	5,040	8,920	1,010	223,680	2,605	25,656	2	200
本渡市立	74,226	3,420	5,000	4,305	138,013	138	15,986	7	1,740
牛深市	31,110	1,133	2,350	3,484	15,081	-	-	-	-
宇土市立	63,015	3,204	4,800	5,955	83,061	-	-	12	2,878
三角町立	19,959	2,127	3,000	2,913	48,363	-	-	1	10
不知火町立	44,067	9,603	10,200	2,916	78,422	-	4187	4	5,081
城南町立	23,150	916	1,200	1,834	14,216	275	2,973	3	150
松橋町立	33,229	1,207	2,800	944	43,843	-	-	10	1,330
小川町立	30,100	5,381	5,000	4,625	63,932	-	-	24	2,424
岱明町	23,380	2,738	2,000	2,840	27,232	-	-	-	-
南関町立	34,164	2,330	3,300	3,547	31,361	-	-	5	3,779
長洲町	42,699	3,339	3,360	7,594	99,806	-	-	-	-
植木町	65,235	5,053	7,000	11,459	192,253	-	33,180	15	1,143
合志町	66,851	9,349	12,680	10,500	136,658	-	-	21	2931
泗水町立	50,330	6,107	7,317	6,164	106,401	-	-	27	4,561
西合志町	139,841	15,639	24,110	15,640	376,293	-	-	115	15,702
一の宮町立	34,832	1,869	4,000	1,107	16,988	-	-	3	710
阿蘇町立	55,765	4,394	5,400	6,416	96,877	-	5,424	122	1,589
御船町立	12,151	946	2,000	3,053	10,993	-	-	-	-
矢部町立	17,660	3,618	6,000	1,760	18,645	-	-	-	-
鏡町	30,875	4,075	5,000	407	56,904	-	-	7	65
宮原町立	11,929	1,162	1,150	501	13,012	-	-	1	50
芦北町立	41,228	725	1,000	-	9,360	-	-	16	1,064
錦町	29,490	1,279	1,535	3,961	16,812	-	-	11	1,530
須恵村立	4,678	70	100	147	-	-	-	-	-
大矢野町立	17,849	1,438	2,000	-	8,133	-	1,439	3	300
松島町	30,294	3,012	1,800	2,347	39,442	-	-	5	209
御所浦町立	36,573	394	400	279	4,842	-	-	-	-
河浦町	35,665	1,165	1,000	1,085	10,891	134	1,654	-	-